



保証書裏表紙

WEX-HD80H4N-FSET WEX-HD105H4N-FSET WEX-HD120H4N-FSET

こたつの「品名」および「形名」は
天板を外し、こたつ本体上面の貼付け
ラベルをご参照ください。

もくじ

ヒーターユニット型番
MHU-601E

- このたびは弊社商品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使
いください。
- ご使用前に「安全上のご注意（1～5ペー
ジ）」を必ずお読みください。
 - 保証書は裏表紙についています。「お買い上
げ日・販売店名」などの記入を確かめ、大
切に保管してください。
 - この商品は日本国内専用で、海外ではご使
用いただけません。
This appliance is designed for domestic use in Japan
only and cannot be used in any other country.
 - 取扱説明書のイラストと実際の製品の形状
が異なる場合があります。

ご使用前に	安全上のご注意 ····· 1～5 危険・警告・注意 部品明細 ··········· 6
使い方	ご使用の準備 ······· 7～8 脚の高さ調節の方法 ····· 8 こたつの使い方 ········· 9 テーブルとしての使い方 ··· 9 ご使用の順序 ·········· 10 知っておいていただきたいこと · 11 お手入れと保管の方法 ····· 12 故障かな？と思ったら ····· 12 仕様 ················· 13 保証とアフターサービス ··· 13 保証書 ··············· 裏表紙
必要なときに	

安全上のご注意（必ずお守りください）

メモ

人への危害や財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

△ 危険	「死亡や重傷を負うおそれがあり、かつその度合いが高い内容」です。
△ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
△ 注意	「傷害を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない「禁止」内容です。



実行しなければならない「強制」内容です。

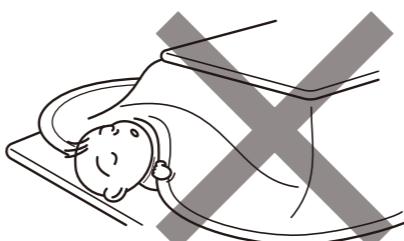
△ 危険

低温やけど・脱水症状の恐れあり



強制
使用温度を低めにし、ときどき体を動かすなど、使用状態に異常がないか周囲の方が常に注意してください。次のような方がお使いのときは、特に注意してください。

- ◆ 乳幼児
- ◆ ご自身で温度調節の出来ない方・皮ふ感覚の弱い方
- ◆ お子様、お年寄り、ご病人
- ◆ ねむけをさそう薬を服用された方
(かぜ薬、鼻炎薬、睡眠薬、抗不安薬など)
- ◆ 過度の飲酒をされた方、疲労の激しい方



就寝用暖房器具として使用しないでください。
●低温やけどの恐れがあります。

禁止

■ 低温やけどとは

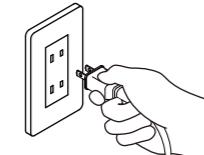
比較的低い温度（40～60℃）でも皮ふの同じ場所を長時間暖めていると、赤いはん点が出来たり水ぶくれを起こしたりすることをいいます。

万一、低温やけどをされたときは、ただちに専門医の診断を受けてください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

⚠ 警告

使用しないときは電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。



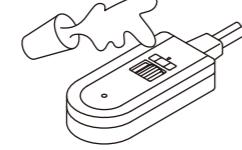
コンセントに接続したままにすると、火災や感電、けがの原因になります。

電源プラグは定期的に掃除する。



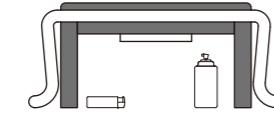
電源プラグにはこりや湿気が付着すると、火災や感電の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

電子コントローラーに水などを掛けない。



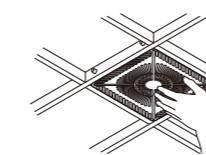
火災や感電、漏電の原因になります。水がかかったときは、直ちに使うのを止めて、お買い上げの販売店にご相談下さい。

ライターやスプレー缶等をこたつの中に置かない。



爆発や火災の原因になります。

使用中や使用直後のヒーターユニットに触れない。



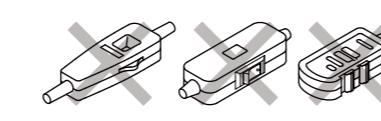
やけどの原因になります。

器具用プラグに異物を入れない。



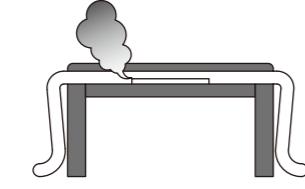
火災や感電、故障の原因になります。

電源コードはヒーターユニット付属のもの、または専用の交換品を使用する。



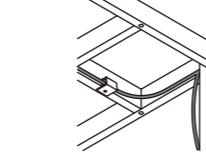
他社製や専用以外の電源コードを使用すると、誤作動を起こし、火災や故障の原因になります。

ヒーターユニットを上向きで使用しない。



火災の原因になります。

電源コードを固定して使用する。



電源コードを固定せずに使用すると、断線やショートを引き起こし、火災や感電、故障の原因になります。

お手入れと保管の方法

■ お手入れ前に

- ・電子コントローラーを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・本体を十分冷ましてから（約30分）お手入れをしてください。

■ ヒーターカバーのお手入れ

- ・ヒーターカバーについてごみやほこりは掃除機で吸い取ってください。
- ・自転車の空気入れなどでごみやほこりを吹き飛ばすとより効果的です。
- ・ごみやほこりが大量に付いたまま使用すると、発煙や異臭の原因となります。

■ テーブルのお手入れ

- ・台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸した布で拭き取ってください。その後、洗剤や水分が残らないように、しっかり乾拭きしてください。
- ・ワックスやクリーナーを使用するときには、説明書をよく読み、ご理解の上ご使用ください。

■ 保管

- ・保管の前にヒーターカバーのお手入れをしてください。
- ・ごみやほこりが被らないようにこたつを覆い、湿気の少ない場所に保管してください。
- ・脚や付属品を紛失しないようお気をつけてください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、症状をお確かめください。

症 状	確 認	処 置
運転しない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	ご家庭のブレーカーが「切」になっていませんか？	ブレーカーを「入」にしてください。
	電子コントローラーが「切」になっていませんか？	電子コントローラーを「弱」以上にしてください。
ヒーターが点灯しない	温度制御が働いていませんか？	こたつの温度によって暗く感じることがあります。故障ではありません。
異音がする	常に聞こえる音ではありませんか？	ファンやモーターの動作音です。故障ではありません。
においがする	はじめてのご使用ですか？	塗料や接着剤のおいです。ご使用に伴い出なくなります。
	ヒーターカバーやヒーターの周辺にほこりが付いていませんか？	掃除機などではこりを取り除いてください。
煙がでる	はじめてのご使用ですか？	生産時に残ってしまった油によるものです。ご使用に伴い出なくなります。
	ヒーターカバーやヒーターの周辺にほこりが付いていませんか？	掃除機などではこりを取り除いてください。

これらの処置をしても直らない場合、この表以外の症状はお買い上げの販売店にご相談ください。

ご相談の際にはお手数ですが「品名」および「形名」をお調べの上、販売店までご相談ください。
「品名」および「形名」は、天板を外し、こたつ本体上面の貼り付けラベルをご参照ください。

知っておいていただきたいこと

■ヒータユニットについて

- 初めてご使用になるときは塗料の臭いや煙が出ることがあります。ご使用とともに次第に消えます。
- 器具用プラグが熱く感じられることがあります。これはヒータユニットからの熱によるもので、異常ではありません。

■ヒーター（発熱体）について

- ご使用中にヒーターの明るさが変わります。これは温度制御によるもので異常ではありません。
- ヒーターに付着したほこりなどが焼けて、臭いが出ることがあります。

■ファン・モーターについて

- ご使用中に微弱な回転音や振動があります。これは内蔵されたファンやモーターによるもので異常ではありません。
- モーターの磁気の影響を受け、テレビやパソコン、携帯電話等の画面に歪みを生じることがあります。このような場合は、こたつから 50cm 以上離してご使用ください。

■ヒータカバーについて

- 経年劣化等により、ヒータカバーが変色することがあります。

■電子コントローラについて

- 60Hz 地域は目盛り「弱」ではヒーターが明るくならない場合があります。
- 50Hz 地域は目盛り「弱」でも熱い場合があります。その場合は「•••」の間でお使いください。
- 電子コントローラーが多少熱くなることがあります。これは内蔵された基板の発熱によるもので異常ではありません。

■天板の結露（水滴）について

- お部屋の湿度が高いときやふとんが湿っているときなど、天板に水滴がつくことがあります。水滴は乾いたタオルで拭きとってください。
- 水滴の量が多いときは、天板とふとの間に乾いたタオルを敷いてください。水滴の量を抑えることが出来ます。
- 時々ふとんを干すようにすると、より結露を防ぐことが出来ます。

■電源プラグについて

- ご使用中に微弱な音がすることがあります。これは温度制御によるもので異常ではありません。

■お客様による修理について

- 個人へ修理部品の供給はおこなっていません。
- お客様によるヒータユニットや電源コードの分解や修理の痕が見られる場合は、保証対象外となることがあります。

■経年劣化について

- 長期間使用したこたつは、火災などの事故につながる恐れがあります。安心してお使いいただくため、定期的な点検をおすすめします。点検に関するご相談はお買い上げの販売店にご相談ください。

■ヒータユニットを取り換える場合

- メトロ電気工業社製のユニットの購入をお勧めします。ご購入はメトロ電気工業サービス係までご相談ください。

フリーコール：0800-300-0520

愛情点検

長年ご使用のヒーターの点検を！



こんな症状ありませんか

- 電源プラグや電源コード、本体が異常に熱くなる。
- 「弱」でも異常に熱くなる。
- 本体から煙や異常においが出る。
- 異常な音がする。
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。

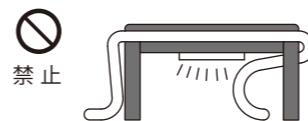
→ ご使用の中止

事故防止のため、直ちに使用を中止し、販売店にお問い合わせください。
傷んだプラグやコードは、絶対に交換、分解、修理、改造をしないでください。

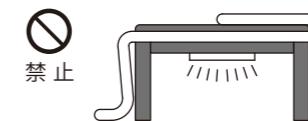
安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 警告

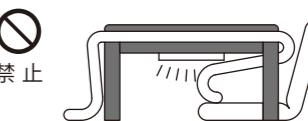
ふとんをこたつの中に押し込んだり、片開きで使用したり、座いすをこたつの中に入れたりしたまま使用しない。ふとんがヒーターに接触し火災の原因となります。



ふとんをこたつの中に押し込んで使用しない。

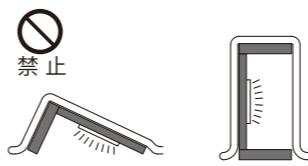


ふとんを片開きにして使用しない。



座いすをこたつの中に入れて使用しない。

脚を外したり、逆さにしたり、立てたりして使用しない。火災の原因になります。



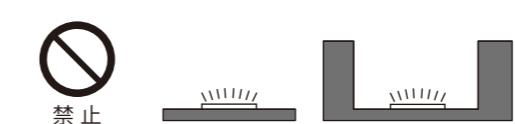
片脚で使用しない。立てて使用しない。脚を外して使用しない。

ペットをこたつに入れない。



本体や電源コードを傷つけ、火災や感電、故障の原因になります。ペットの健康に悪影響を与える可能性があります。

ヒータユニットを床に直接置かない。

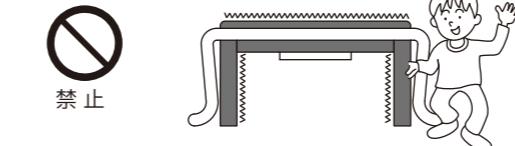


ヒータユニットは卓用こたつ専用です。
床に置いて足温器として使用したり、堀こたつの中に設置したりしないでください。火災の原因になります。

電源プラグや電源コードを交換したり、傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを乗せたり、束ねたりしない。

火災や感電の原因になります。
傷んだプラグやコードは、絶対に交換、分解、修理、改造をしないでください。
プラグやコードが破損したときは直ちに使用を中止し、販売店にお問い合わせください。

本体を横に揺らしたり、激しく動かさないでください。



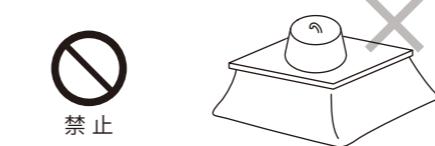
本体や脚の破損、ボルトが欠落し、火災や感電、やけど、故障の原因になります。

天板の上に座ったり、踏み台にするなどのご使用や、乱暴な取扱いは避けてください。



けがや故障の原因になります。

天板に重量のある物をのせたり、過度な荷重や衝撃を与えないでください。



本体が破損し火災や感電、やけど、故障の原因になります。

こたつの脚や椅子の脚などで電源コードを踏まない。



電源コードを傷つけ、火災や感電、故障の原因になります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

△ 危険



家庭用ですので
業務用に使用し
ないでください



偏った荷重や過
度な荷重は掛け
ないでください



本来の用途以外
の使い方はしな
いでください

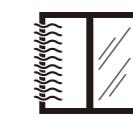


異常が生じたま
ま使用しないで
ください

△ 警告



偏った荷重や過
度な荷重は掛け
ないでください



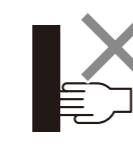
開窓の際は換気
に十分注意して
ください



直射日光や高温
多湿な場所に設
置しないでくだ
さい



各部の組み立て
がきっちりなさ
れている事をご
確認の上で使
用ください



お客様のお取扱
いの不注意によ
る破損等の補償
はいたしかねま
す

廃棄する際は居
住地域の処理法
に従ってください

△ 注意

定期的にボルト
・ネジ類を締め
直してください

△ 注意

・ビニールクロス等をテーブル に密着させて使用しない。 ビニールクロスが貼りつき、天板の塗装 が傷んだり、変色したりする恐れがあり ます。	
・テーブルに熱いものを直接置かない。 加熱したやかんやなべ、熱い急須やコップ、加熱 調理器具などを置くと、天板の塗装が傷んだり、 変色したりする恐れがあります。	
・天板が濡れたまま、長時間放置しない 濡れたままの布巾、濡れたカップ等を置いた ままにしますと、天板が変色、変形する恐れ がありますので、ご注意ください。 天板が濡れた場合は、乾いた布巾等で速やか に拭き取ってください。	
・こたつに強い振動や衝撃を与えない。 ヒーターが断線する恐れがあります。また製品の寿命が 短くなる恐れがあります。	

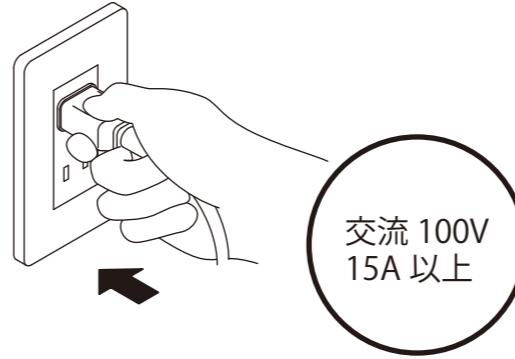
・こたつを傾きのある場所に 置かない。 傾きのある場所に置くと、けがや故障の 原因となる恐れがあります。	
・テーブルをざらついたものでこすら ない。 茶わんや皿など底面がざらついたものでこすると、 天板に傷がつく恐れがあります。	
・こたつを引きずりながら移動しない。 床面が傷つく恐れがあります。	
・他の暖房器具から熱を取り入れるダクトを使 用する場合には注意すること。 温度制御が正常に働かなくなることがあります。 こたつ本体に直接熱風があたると、塗装が傷んだり変色 や変形したりする恐れがあります。	

・ふとんの材質に注意する。 ご使用状況とふとんの材質によっては、ヒーターから の熱で変色することがあります。	
・こたつを熱に弱い床材や敷物の上で使用する 場合は、断熱をする。 断熱をしないと、ヒーターからの熱によって下記の敷 物や床面などは変形・変色・割れ・すき間が生じる恐 れがあります。こたつ用マットを敷き、熱が直接当た らないようにしてください。 ※ 熱に弱い敷物 ※ 熱に弱い床材 コルクマット、ピータイル、寄せ木、天然木の床、 白木床、プラスチックシート（ポリプロピレンや 塩化ビニールなど）貼りの床など ※ 新しい畳の上 青畳が直射日光で変色する現象が、こたつの光で も起こります	
・使用中にヒーターを見つめない。 目に悪影響を与える恐れがあります。	

ご使用の順序

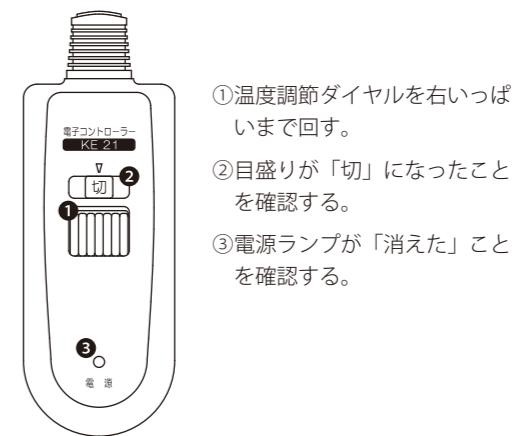
1. 電源プラグをコンセントに差し込む。

- ・電子コントローラーの目盛りが「切」であることを確
認してから、電源プラグを差し込んでください。
- ・家庭用コンセントをご使用ください。



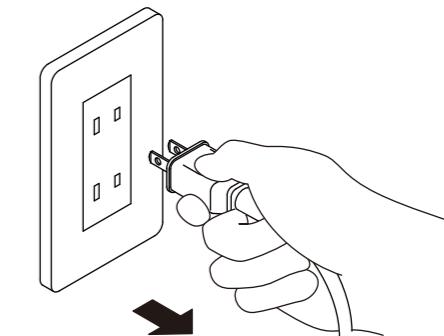
4. ご使用後や外出されるとき。

- ・温度調節ダイヤルを「カチッ」という音がするまで右
に回してください。
- ・目盛りが「切」の位置に戻り、電源ランプが消えた
ことを確認してください。
- ・コンセントから電源プラグを抜いてください。



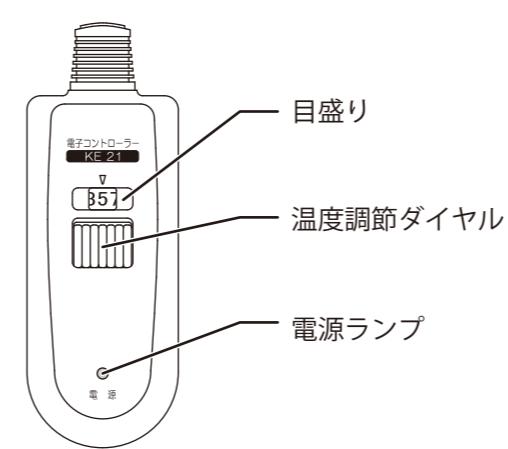
2. 電源を入れる。

- ・温度調節ダイヤルで電源の入り切りを行います。
- ・目盛りが「切」以外の位置では電源が入った状態にな
り、電源ランプが点灯します。

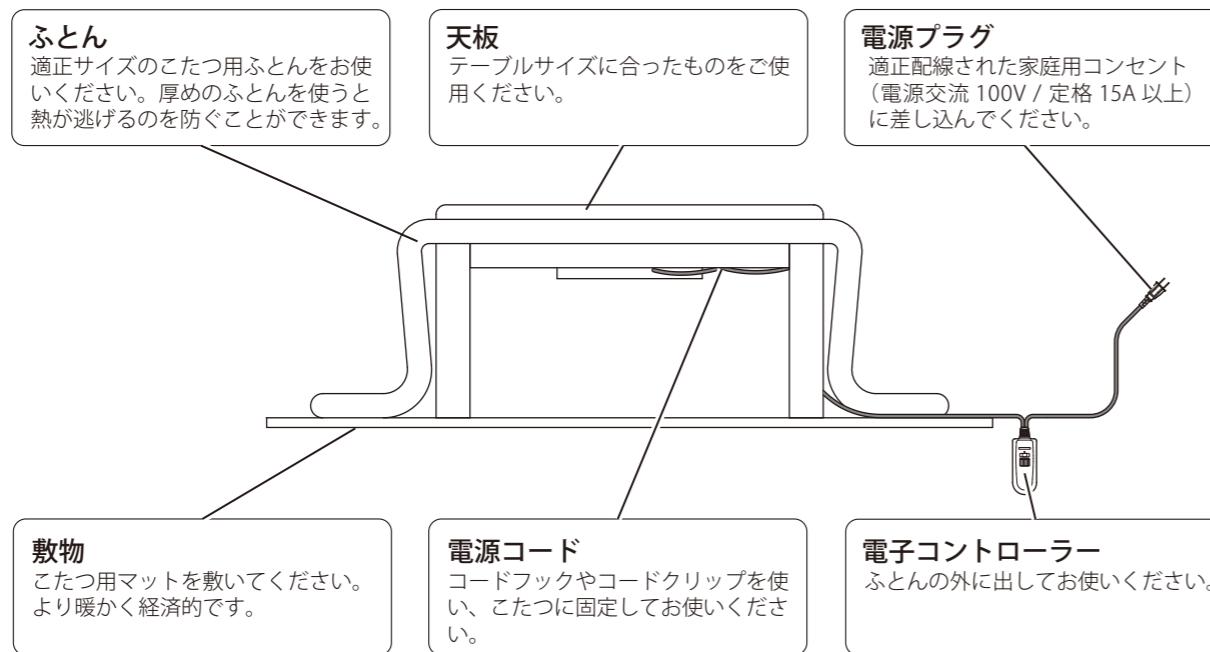


3. お好みの温度に合わせる。

- ・温度調節は温度調節ダイヤルを使います。
- ・温度調節は目盛りの「弱」から「強」まで、無段階で可能
です。

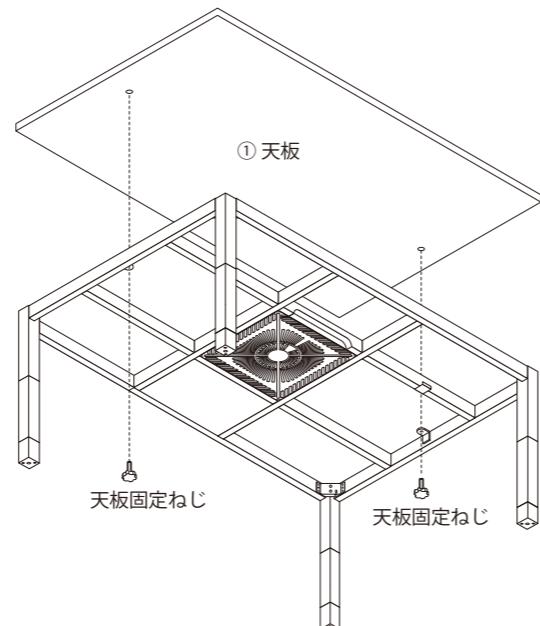


こたつの使い方



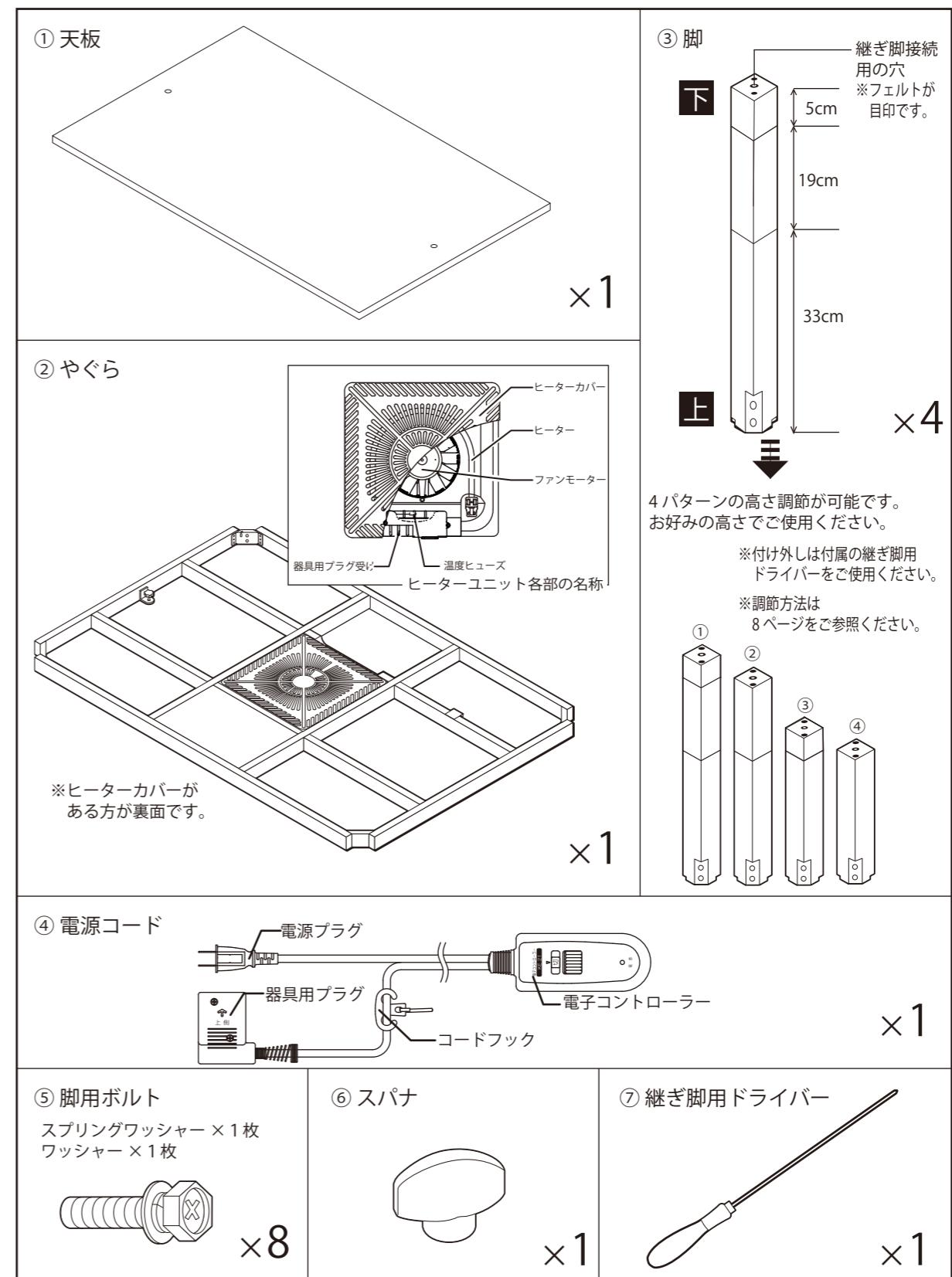
テーブルとしての使い方

1. 電源プラグ・器具用プラグを抜きます。
 - ・電源を「切」にしてから、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - ・器具用プラグをヒータユニットから抜いてください。
2. 電源コードを外します。
 - ・コードフックやコードクリップからコードを取り外してください。
3. 天板とこたつふとんを外す。
4. 電源コードを収納します。
 - ・電源コードをコード収納ボックスに入れ、中天板側のスペースに収納してください。
5. 天板を裏面を上にして床におきます。
6. やぐらを天板の上に裏返して置きます。
 - ・同梱の専用天板をご使用ください。
7. 天板を固定します。
 - ・専用天板のネジ穴と天板固定ネジを合わせ2箇所とも回らなくなるまで締め付けてください。



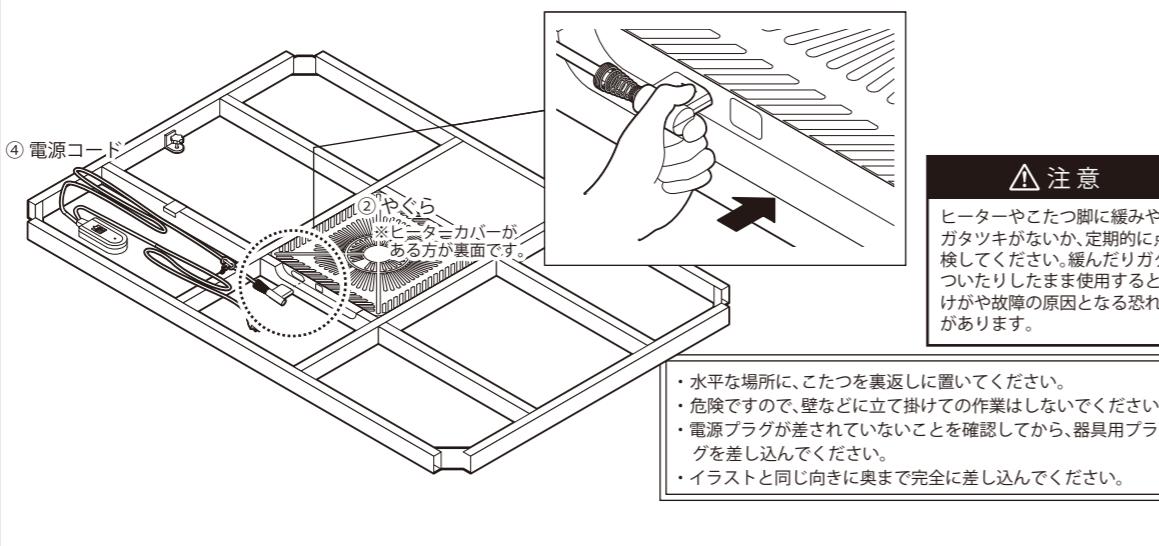
⚠ 注意 ヒーターの取付部、脚部は緩みやガタツキがないか定期的に点検して下さい。

部品明細

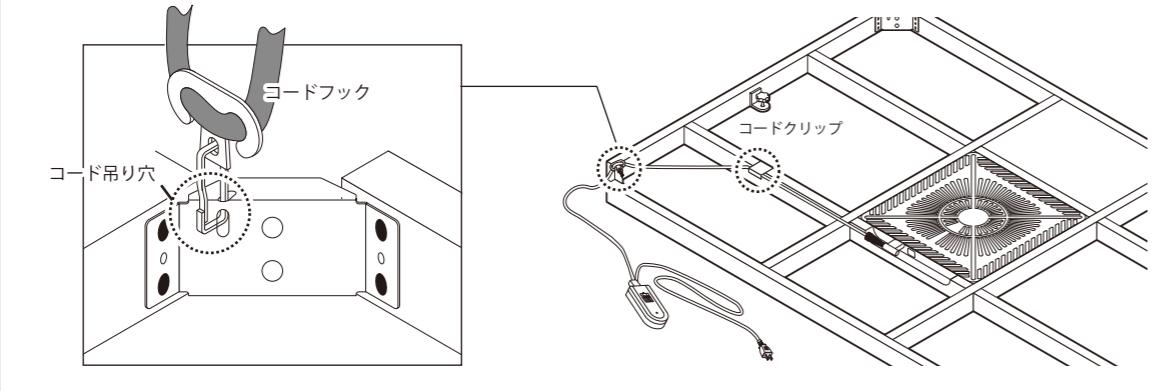


ご使用の準備

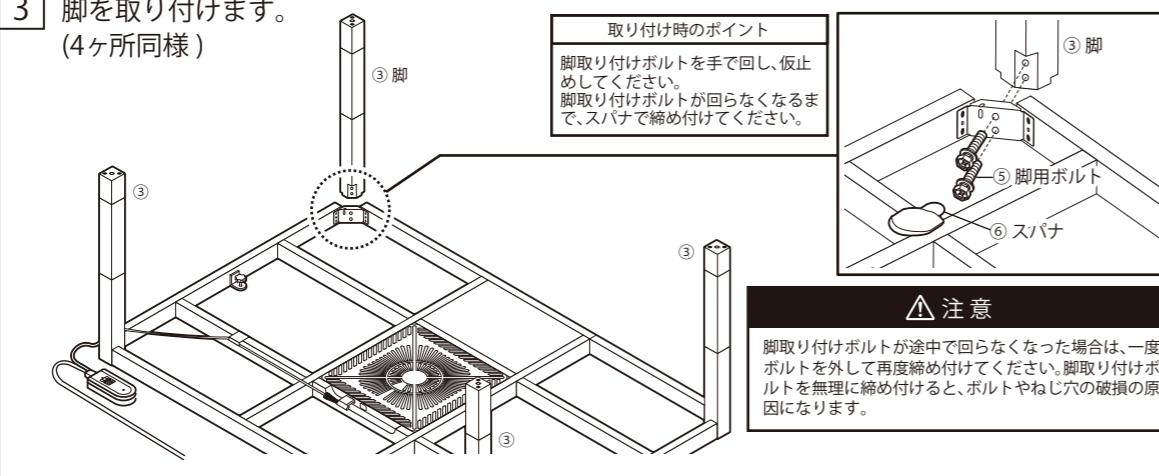
1 やぐらを裏返し、器具用プラグをやぐらのヒーターユニットに差し込みます。



2 電源コードをコードクリップに掛けます。
コードフックを脚のコード吊り穴に引っ掛けで固定し、コードを適切な長さに調整します。

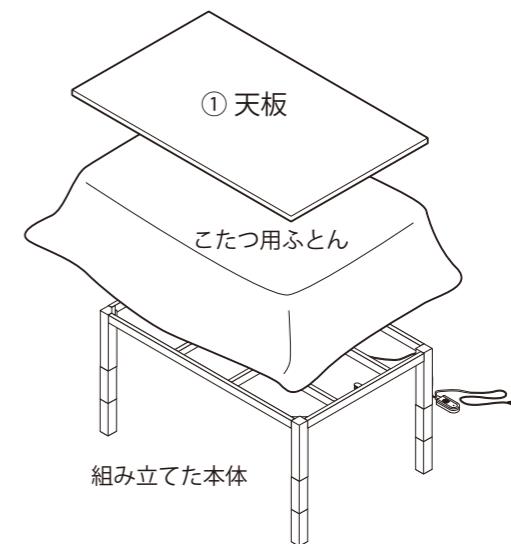
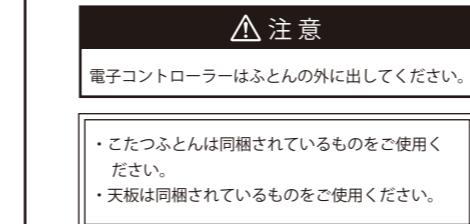


3 脚を取り付けます。
(4ヶ所同様)



ご使用の準備

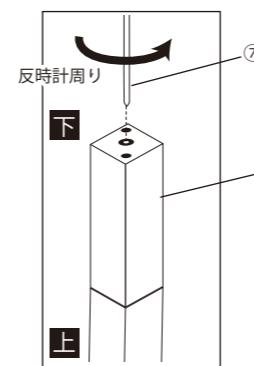
4 組み立てた本体を表にかえします。
ふとんを掛け、天板を置きます。



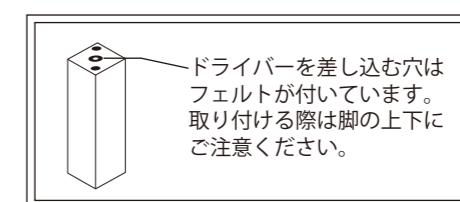
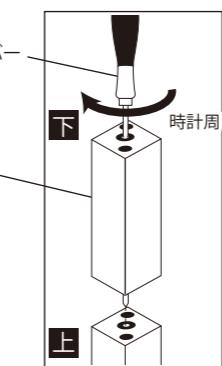
脚の高さ調整の方法

継ぎ脚接続用の穴に、継ぎ脚用ドライバーを差し込んでください。
※本体と接続する前に脚の高さを調節してください。付属の継ぎ脚用ドライバーをご使用ください。

○取り外しの場合
反時計周りに回してください。



○取り付けの場合
時計周りに回してください。



△注意

脚取り付けボルトが途中で回らなくなった場合は、一度ボルトを外して再度締め付けてください。脚取り付けボルトを無理に締め付けると、ボルトやねじ穴の破損の原因になります。

ソファー、ダイニングチェア使用時に 高座椅子など使用時に 座椅子、座布団など使用時に もちろんテーブルとしても

